

平成30年度

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間ルート 報告者: 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間 代表 野村 文吾 報告年月日: 2019/3/31

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H30					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	
景観	五感と感動で楽しむ場所を提供するため、美しい景観の発掘と、景観阻害要因となる看板の撤去等の整備、雄大な景観デッキの整備、年間を通して豊かな時間を過ごすカフェの整備を進める。また、十勝シーニックバイウェイ3ルートが連携し、巡る楽しみを創出する。	連携・体験事業	人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト事業	シーニックバイウェイ&ガーデン街道 美しい北海道景観を育てる会	平成30年4月～平成31年3月	主催者:60名程度	—	北海道ガーデン街道、十勝シーニックバイウェイ3ルート、大雪・富良野ルートの連携で次世代に良い景観を継承していくための植樹や景観保全の連携事業を実施。民間企業との連携にも繋がり、今後も継続して実施していく予定である。
			—	—	—	—	—	—
地域	道外、国外に対して、観光・食・アクティビティ・環境などの情報を、自信を持って発信できる地域づくりを行う。そのために、ホスピタリティを向上させ、組織・団体の活動を活性化させるなど、地域間競争に打ち勝つための情報共有や地域住民との連携強化による人づくり・街づくりを推進する。さらに、それらを生かした十勝型産業の開発を目指す。	連携・体験事業	—	—	—	—	—	—
		発信事業・プロモーション事業	—	—	—	—	—	
		癒とりフェスタ事業	—	—	—	—	—	
観光	陸・水・空・時の四次元ルートを完成させ、日本で有数の観光客を集客するために、基本となる十勝人の歴史や十勝のスイーツについて学び、ライフコンシェルジュの育成と女性プロジェクトを実践し、ルートの地域資源発掘に力を入れる。そして、これらを基に魅力あるモデルルートを設定し、新しいメディアを活用して広く情報発信を行う。更に、地域住民と観光客との双方向コミュニケーションを充実させていく。	連携・体験事業	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
		発信事業・プロモーション事業	プロモーション活動と「とかちマルシェ」と「とかち観光案内所」	トカプチ雄大空間	平成30年9月1日(土)～9月2日(日)	事務局2名、ライフコンシェルジュ延12名	—	—
トカプチ情報ボックス事業	トカプチ情報ボックス事業	トカプチ雄大空間	平成30年4月～9月	エリア内17拠点	A — 4	トカプチ雄大空間エリア内の観光拠点にPRのため設置している「トカプチ情報ボックス(観光パンフレット設置ラック)」にルート内施設の観光パンフレットなどを期間中6回配布を行った。主に観光施設に設置しており、お客様からの需要も高いので、今後も実施していく予定である。		
トカプチマップ事業	トカプチマップ事業	トカプチ雄大空間	平成30年3月発行	主催者:10名程度	A — 3	昨年度に引き続き、エリア内のおすすめドライブルートの紹介や観光PRを含めたマップを作成した。今年度はサイズ・デザイン等全面リニューアルし、内容も充実させた。引き続き観光拠点を中心に配布を行う。観光客からのマップの需要は高いことから、今後も観光プロモーションと合わせて継続する。		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間ルート 報告者: 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間 代表 野村 文吾 報告年月日: 2019/3/31

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H30					活動状況資料番号	総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数			
観光	陸・水・空・時の四次元ルートを完成させ、日本で有数の観光客を集客するために、基本となる十勝人の歴史や十勝のスイーツについて学び、ライフコンシェルジュの育成と女性プロジェクトを実践し、ルートの地域資源発掘に力を入れる。そして、これらを基に魅力あるモデルルートを設定し、新しいメディアを活用して広く情報発信を行う。更に、地域住民と観光客との双方向コミュニケーションを充実させていく。	人材育成事業	ライフコンシェルジュ事業 ※活動を行ったイベントは下記の通り	トカプチ雄大空間	平成30年4月～平成31年3月	ライフコンシェルジュ(登録人数:35人)	A — 2	十勝の魅力・生活の楽しさを伝える「ライフコンシェルジュ」事業。主なガイド活動としては、十勝川温泉にある「シーニックカフェ 十勝が丘展望台」外へのライフコンシェルジュの派遣がある。今後も活動の場を増やすとともに、育成に力を入れる。今年度は、ライフコンシェルジュを対象とした研修会、ランチ交流会を実施。感じる部会とライフコンシェルジュが一体となって事業に取り組んでいる。	
			①十勝ヶ丘展望台ライフコンシェルジュ派遣事業	トカプチ雄大空間 ※十勝川温泉旅館協同組合	平成30年4月28日(土)～10月28日(日)	ライフコンシェルジュ延88人を派遣			
			②帯広駅コンコース内「幸福駅案内所」ガイド派遣	トカプチ雄大空間 ※(一社)帯広観光コンベンション協会	平成30年7月22日(日)、7月29日(日)～8月13日(月)	ライフコンシェルジュ延7人派遣			
			③とがちマルシェ・十勝観光案内所(ライフコンシェルジュ出勤)	とがちマルシェ実行委員会	平成30年9月1日(土)～9月2日(日)	ライフコンシェルジュ延12名参加			
			④ラリー北海道2018ガイド派遣	ラリー北海道大会事務局	平成30年9月14日(金)	ライフコンシェルジュ延2名派遣			
			⑤「おびひろ昔ばなし周遊バス」(ライフコンシェルジュ協力)	十勝圏二次交通活性化推進協議会	平成30年7月22日(日)～8月19日(日)	二次交通活性化推進協議会にて実施			
					平成31年1月12日(土)～平成31年2月3日(日)	二次交通活性化推進協議会にて実施			
		販売促進事業	とがちガーデン・グルメ・温泉チケット	トカプチ雄大空間	平成30年4月22日(日)～10月21日(日)	主催者:10名程度	A — 1	観光施設、市内ホテル、観光案内所等75箇所にてチケットの委託販売を実施した。	
環境	エコに関する啓蒙の推進、ゴミの削減による環境美化、カーボンオフセットの推進による環境の改善など、環境モデル都市・エリア実践のための連携を強化し、環境に関わる新産業による就業人口や移住・定住人口の増加を目指す。	連携・体験事業	—	—	—	—	—	—	

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：とがちガーデン・グルメ・温泉チケット事業

【概要】今年度で9年目の事業となる十勝の施設をお得にめぐる「とがちガーデン・グルメ・温泉チケット」を販売。1冊1,600円で最大約4,000円分利用可能なチケット。観光施設、ビジネスホテル、道の駅など、道内約70か所で販売を行い、相互の施設においてPR活動を実施するほか、専用ホームページにて積極的にPRを行った。

今回については、上記のほかインスタフォトコンテストやQRコードラリーの連動企画を同時開催し、PRに努めた。インスタフォトコンテストは応募総数が609件に及んでいる。

【販売・実施期間】平成30年4月22日（日）～10月21日（日）

【対応施設エリア】十勝シーニックバイウェイエリア

【チケット対応施設】上記エリア内のガーデン、グルメ、温泉外55施設（北の屋台20店舗含む）

【主催】十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

【販売数】1,107冊（利用率86.1%）



チラシ(表面)

(チラシ中面)



(チケット)



十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：ライフコンシェルジュ事業

【概要】 十勝の魅力・生活の楽しみを伝える「ライフコンシェルジュ」（ご当地風土アドバイザー）の育成事業。主なガイド活動としては、十勝川温泉にある「シーニックカフェ十勝が丘展望台」外へのライフコンシェルジュの派遣がある。今後も活動の場を増やすとともに、育成に力を入れる。今年度は、ライフコンシェルジュを対象としたワークショップや講習会を開催したほか、人材の掘り起こしを目的にライフコンシェルジュの体験会なども実施している。

【活動期間】 平成30年4月～平成31年3月

【場所】 十勝管内にて活動を実施

【主催】 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

【活動状況】 ライフコンシェルジュ：35名 ガイド活動実施先は以下のとおり

①シーニックカフェ十勝が丘展望台（4/28～10/28土日祝日）各2名／②帯広駅コンコース内「幸福駅案内所」（7/22、7/29～8/13土日祝日、お盆）各1名③とかちマルシェ・十勝観光案内所（9/1～9/2）延べ12名／④ラリー北海道9/14 2名 ⑤十勝圏二次交通活性化推進協議会主催「昔ばなし周遊バス」への協力（7/22～8/19、1/12～2/3）



とかちマルシェ



十勝が丘展望台

LIFE+CONCIERGE
十勝の魅力・生活の楽しみ方を伝える人

ご当地風土アドバイザー

地元の豊かさを自ら感じ楽しむ

地元の生活スタイルを伝える

生まれ親身になれる人間性

ひと二癒し

ライフコンシェルジュとは

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：トカプチマップ事業

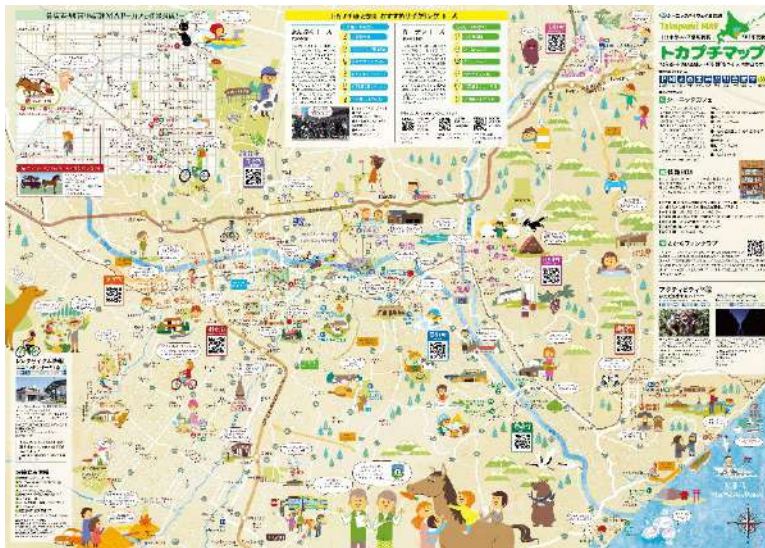
【概要】 昨年度に引き続き、エリア内のおすすめドライブルートを紹介や観光PRを含めたマップを作成した。今年度は、おすすめのサイクリングコースなどを追加し内容も充実させた。引き続き観光拠点を中心に配布を行う。観光客からのマップの需要は高いことから、今後も観光プロモーションと合わせて継続する。

【発行】 平成31年3月

【主催】 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

【マップ仕様】 印刷部数：17,000部 サイズ：A2

配布箇所：ルート団体施設ほかエリア内の観光施設、道の駅、札幌市内など



<トカプチ雄大空間ルートMAP>

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：トカプチ情報ボックス事業

【概要】

トカプチ雄大空間エリア内の各情報拠点に設置している「トカプチ情報ボックス」にルート内施設の観光パンフレットなどを設置している。

主に観光施設に設置しており、パンフレットの需要も高いことから、今後も実施をしていく。

【実施時期】平成30年4月～9月

【設置箇所】17カ所（参加は20事業所）

【配達回数】6回



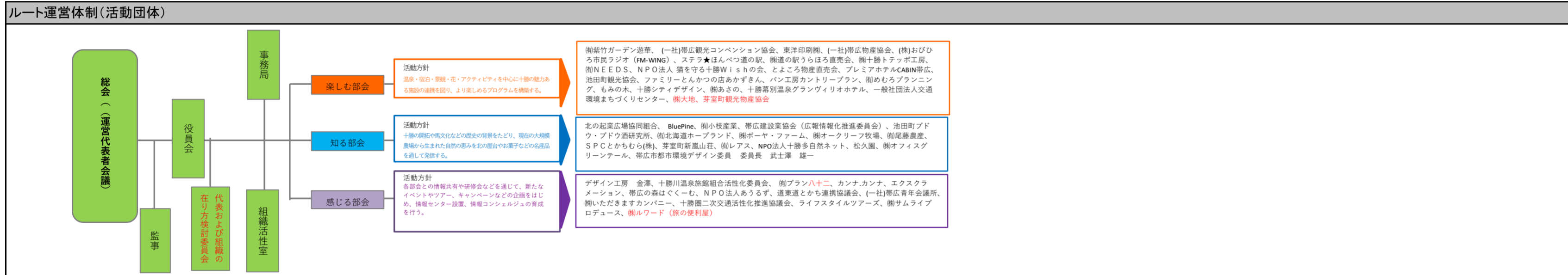
<トカプチ情報ボックス>

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間	報告者:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間 代表 野村 文吾	報告年月:2019/3/31
-----------------------------	------------------------------------	----------------

活動団体

十勝バス(株)、(株)大地、真鍋庭園苗畑、(株)丸勝十勝ヒルズ開発部、(有)紫竹ガーデン遊華、(一社)帯広観光コンベンション協会、東洋印刷(株)、北の起業広場協同組合、BluePine、(有)小枝産業、十勝川温泉旅館組合活性化委員会、(有)プラン八十二、芽室町観光物産協会、(株)エコERC、(一社)帯広物産協会、(株)おびひろ市民ラジオ(FM-WING)、ステラ★ほんべつ道の駅、(株)道の駅うらほろ直売会、(株)十勝トテッポ工房、(有)NEEDS、NPO法人猫たちを守る十勝Wishの会、とよころ物産直売会、プレミアムホテルCABIN帯広、池田町観光協会、ファミリーとんかつの店 あかづきん、パン工房カントリープラン、(有)めむろプランニング、もみの木、十勝シティデザイン、(株)あさの、十勝幕別温泉グランヴィリオホテル、帯広建設業協会(広報情報推進委員会)、池田町ドウ・ブドウ酒研究所、(有)北海道ホーブランド、(株)ボーヤ・ファーム、(株)オークリーフ牧場、(有)尾藤農産、SPCとかちむら(株)、芽室町新嵐山荘、(有)レアス、NPO法人十勝多自然ネット、松久園、(株)オフィスグリーンテール、カンナ、カンナ、エクスクラメーション、帯広の森・はぐくむ(指定管理者ケイセイ・造形協同企業体)、非特定営利活動法人コミュニティシンクあうるず、道東道とかち連携協議会、(一社)帯広青年会議所、(株)いただきますカンパニー、十勝圏二次交通活性化推進協議会、ライフスタイルツアーズ、(株)サムライブロデュース、一般社団法人 交通環境まちづくりセンター、デザイン工房・金澤、帯広市都市環境デザイン委員 委員長、(株)ルワード(旅の便利屋)、帯広商工会議所



基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
総会(運営代表者会議)		●5/17総会											
部会・役員会	●4/13 代表および組織の在り方検討委員会 ●4/20 役員会	●5/14 代表および組織の在り方検討委員会	●6/22 代表および組織の在り方検討委員会		●8/17 代表および組織の在り方検討委員会 ●8/22 楽しむ部会 ●8/28 知る部会 ●8/31 代表および組織の在り方検討委員会	●9/5 感じる部会 ●9/14 知る部会 ●9/18 楽しむ部会	●10/5 代表および組織の在り方検討委員会 ●10/26 知る部会	●11/2 代表および組織の在り方検討委員会 ●11/15 代表および組織の在り方検討委員会 ●11/20 知る部会 ●11/30 楽しむ部会	●12/5 役員会 ●12/5 代表および組織の在り方検討委員会 ●12/6 感じる部会	●1/17 感じる部会 ●1/22 知る部会	●2/1 代表および組織の在り方検討委員会 ●2/12 知る部会 ●2/13 楽しむ部会 ●2/27 代表および組織の在り方検討委員会	●3/6 地域振興アイデア実現プロジェクト審査会 ●3/20 代表および組織の在り方検討委員会	
十勝SBW連絡会議				●7/25								●3/4	
その他連携会議(人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト)	●4/19 総会						●10/29 全体会議						
シーニックバイウェイ北海道			●6/27 全道ルート代表者会議					●11/1~2 道東ブロック会議					
秀逸な道施行区間検討会議、実地調査					●8/30								

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間	報告者:帯広開発建設部	報告年月:2019/3/31
-----------------------------	-------------	----------------

基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ルート運営行政連絡会議				●7/3				●11/12					

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間	報告者: 帯広開発建設部	報告年月: 2018/3/31
------------------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成28年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No.
景観	五感と感動で楽しむ場所を提供するため、美しい景観の発掘と、景観阻害要因となる看板の撤去等の整備、雄大な景観デッキの整備、年間を通して豊かな時間を過ごすカフェの整備を進める。また、十勝シーニックバイウェイ3ルートが連携し、巡る楽しみを創出する。	人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト	平成30年4月～平成31年3月	自治体 商工会 帯広開発建設部	植樹維持管理調査報告書の確認等を行った。植樹箇所は国道以外の場合もあることから、関係自治体等と連携して進めていく必要がある。	行政機関とルートが連携した取組を行うことにより効果がよりいっそう高くなっている。今後も行政とルートとの連携を強化しPRのため広域での取組を行っていく必要がある。	
観光	道外、国外に対して、観光・食・アクティビティ・環境などの情報を、自信を持って発信できる地域づくりを行う。そのために、ホスピタリティを向上させ、組織・団体の活動を活性化させるなど、地域間競争に打ち勝つための情報共有や地域住民との連携強化による人づくり・街づくりを推進する。さらに、それらを生かした十勝型産業の開発を目指す。	十勝シーニックバイウェイPR活動	平成30年7月～平成31年3月	帯広開発建設部	帯広空港ターミナルビル株式会社の協力を得て、十勝シーニックバイウェイの紹介、説明などのPRパネルの展示を行った。空港での開催であるため、道外からの観光客が多く、十勝の魅力を発信する機会となった。また、今年度は新たに、帯広地方第2合同庁舎、道東占冠PAにPRポスターの展示やデジタルサイネージの活用を開始したほか、道の駅(3駅)や十勝総合振興局においてもロールスクリーンの展示を行い十勝SBWの周知を行った。今後もイベント等でのPR活動を積極的に行っていきたい。		